

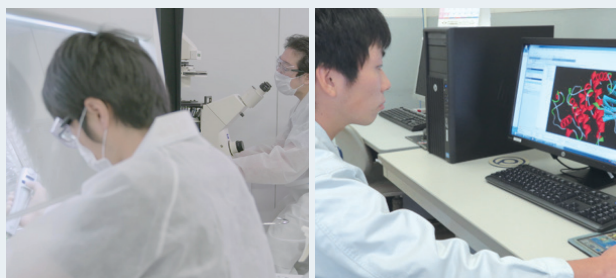


# 研究開発

価値の高い新薬の継続的な創出を目指して研究開発力を強化

あすか製薬では、経営理念である「先端の創薬を通じて、人々の健康と明日の医療に貢献する」を念頭に、アンメット・メディカルニーズに応えられる価値の高い新薬の継続的な創出を目指して、研究開発力の強化に取り組んでいます。当社は、先端の技術と長年にわたり蓄積した性ホルモン、内分泌ホルモン研究の経験、そして積極的なオープンイノベーションの活用により、オリジナリティに富んだ多くの自社開発品を創出してきました。2020年、オープンイノベーションをより一層推進するため、研究拠点を「湘南ヘルスイノベーションパーク」に全面

移転しました。これにより、外部との連携がさらに強化され、急速な技術の進歩に対してフレキシブルに対応できる研究体制が構築できたと考えています。開発活動においては、私たちが得意とする内科、産婦人科、泌尿器科を基軸とし、ニッチな領域や希少疾患においても、健康への貢献度が高い製品の開発に取り組んでいます。効率的・効果的な開発を進めるため、国内外のパートナーとのアライアンス活動も積極的に行っており、患者さんに一日も早く有用な新しい治療薬をお届けすることを目指しています。



実験風景



湘南研究所 エントランス

面談風景



# 生産

徹底した品質管理体制で生産・供給

製薬企業には、医薬品の有効性と安全性、そして高品質の確保と安定供給が求められています。あすか製薬では従業員一人ひとりが「医薬品が持つ、人間の生命や健康に直接かかわる重要な使命」をいつも心に刻み、この使命を全うするため、切磋琢磨しながら一丸となって生産活動を行っています。工場においては、GMP (Good Manufacturing Practice: 医薬品の製造管理および品質管理に関する基準) などの基準を遵守することはもとより、徹底した品質管理体制を確立し、常に

高い品質を目指す工夫を続けています。2020年には、インドに設立した医薬品製造を目的とする合併会社が工場稼働を開始します。また、いわき工場では第四製剤棟を新設・稼働しており、高品質な医薬品を低コストで提供できる体制を確立し、グローバルなネットワーク構築を進めています。あすか製薬は、絶え間ない技術革新に取り組むとともに、さらなる生産性向上や製造コスト削減に努め、高品質で安全な医薬品を安定供給しています。



品質管理棟(いわき工場)



第四製剤棟(いわき工場)